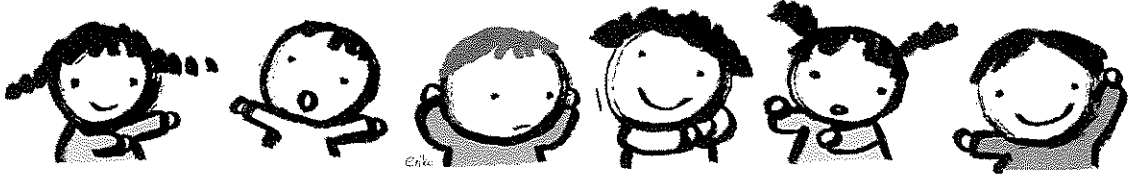


2024年度

# こどもニュース

No.18

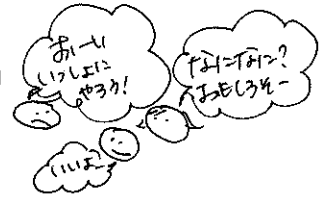
1.21 発行



## 【一緒にあそぼうの日におきて】



主体的な遊びを通して育まれる「生きる力」  
—自分が園生活の主人公—

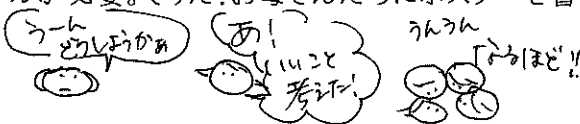


### アクティブラーニングは面白さの追求

始業礼拝でもお話しさせていただきましたが金城学院幼稚園の子ども達の遊びは今教育の現場でさかんに言われ、小学校から中学、高校、また大学まで一貫して取り組んでいる「アクティブラーニング」という考え方そのものです。「探求的学び」「主体的、対話的で深い学び」とも言われ、子ども達が自ら課題を発見し問題解決しようとしていく、課題解決していくために友達と一緒に意見を出しあっていく、というような学びの在り方で、これは本当にこの園のこども達の日常そのものです。

子ども達は自分がしている遊びをよりおもしろくさせたいと自然に工夫します。「おもしろさ」の追求は子ども達の本能ではないでしょうか。遊んでいますからうまくいかなかったり難しい場面に出くわしても「どうしようか?」と悩む姿はどこか「ワクワク」した雰囲気をまとっています。「もっと面白くしたい」から友達と一緒に問題解決しようと思えますし、協力もする。意思表示もするし、違う考えやイメージを持つ友達と意見や遊び方をすり合わせることも必要です。

聞いていると難しそうですが、例えば「もっと光る泥団子をつくるにはどうしたらいいだろう、そうだ!水をもっと増やしてみよう」「三輪車小屋の近くの土がいいんだよ」という工夫や発見、11月頃に年長の女の子たち中心で「ステージやおうちを作りたいから大きい段ボールが必要。そうだ!お母さんたちにポスターを書いて持ってきてもらおう!」といった取り組み



が「探求活動」そのものです。おうちが作りたい、でも段ボールがないという課題を発見する、じゃあどうする?と友達と相談してポスターをつくり掲示して解決を図る。子ども達に直接頼まれ、皆様のご協力でたくさんの段ボールが集まりました。こういった「自分達で考えて、他者と協力したり話し合ったりしながら学んでいく」ということがアクティブラーニングの柱になるのですが、園の子ども達はこれを毎日、遊びの中で経験しています。

遊びを「より楽しく、面白く」したいという気持ちと楽しさがベースにあるから、学習という場面だけで経験するより、ずっと楽に、そして楽しく経験を積み重ねられるのです。その面白さを「一緒にあそぼうの日」という行事でぜひ大人の皆さんも体験してみてくださいね。

### VUCA の時代に必要な力「エージェンシー」

そしてこのアクティブラーニングの中で子ども達の中に育まれる力、つく力を私達は「エージェンシー」と呼んでいます。最近さかんに言われるようになってきたのでこれもどこかでお聞きになったかもしれません。今、世界の教育の方向性を指し示すことに熱心に取り組んでいるのが「OECD(経済協力開発機構)」です。

OECD は今後、世界はますます VUCA の時代になると言っています。VUCAとは「不安定・不確実・複雑・曖昧」という意味で、2030 年代には確実にそうなると予測をたてています。おそらく戦争は終わらない、気候変動はもっと激しくなっていく、貧富の差はもっと大きくなり、国という単位が崩れていく、そういう世界を子ども達は生きていかなくてならないだろうと OECD は分析しています。

その世界では、誰かの指し示す道をついていくのではなく、自らが羅針盤(自分の判断基準)を持つ必要がある、そして、自ら方向性を見出し他者と協力しつつ道を進む事が大事になるのではないのでしょうか。そして、このような事を前提に、VUCA の時代を生き抜く子ども達に必要な力が「エージェンシー」なのです。

エージェンシー⇒訳すのが難しいですが

・自分たちの暮らしをよりよくするために他者と協働して実際に行動できる力  
・自分たちで遊びを生み出し、そこに新しい価値を見出す。その中での対立やジレンマにも対処し、当事者として責任ある行動をとる力

と、捉えています。

私たちは「当事者性」もとても大事であると考えていて、要するに「だれかがやってくれる」ではなく「自分達の生活なんだよね、だから責任もって動かないとね」という感覚をもって生活しているということかなと考えています。これは今年の年長さん達がしっかりと持って

いる力だと感じています。

1 学期の終業礼拝でお話した全園児での「ムシムシ会議」を覚えていますか？虫をどうやって園で飼ったり捕まえたりしていくのかと全園児で話し合いルールを決めました。

2 学期から始まった翌日のお部屋の環境作りを話し合うクラスミーティングでは、毎日各クラスの KMT の年長を中心に次の日のお部屋のしつらえを自分達で話し合っ決めていきます。「この遊びはこのままにしておきたい」「でも掃除はどうするんだよ」「端っこに寄せようよ」など場合によってはクラスの枠を超えて年長が中心になってホワイトボードを使ったりしながら考えています。

こうして子ども達は遊ぶだけではなく生活の準備から片付けまで、全てを自分事として考えているのです。これはものすごい事だと思います。

先週、子ども達だけで始まったドッチは、なんとボール 3 個で始まりました。もっとスリルを楽しみたくなったのでしょうか。これが「自分達で遊びを生み出し、そこに新しい価値を見出す」です。3 個のボールなので大忙し(笑)

忙しすぎて、ついに年中さんが泣いて怒ったので皆で集まって話し合った結果、ボールは 2 個となっていました。どこの園でもドッチボールは楽しまれていると思います。でも大人が決めたルールの中で取り組まれるドッチボールでは、面白さを求めてボール 3 個でスリルを楽しみ、年下の仲間が困ったから話し合っボールの数を減らす、という事は起きないのではないのでしょうか。

始業礼拝の日には子ども達と山のシートを外しました。

ドキュメンテーションにして掲示していますが(見てね!)「明日から遊ぶから外さないね」と、ペグを抜くのに大勢の子ども達が集まり何とか抜こうと話し合いながら、子ども達だけであれこれ試行錯誤していたようです。これは「その中での対立やジレンマにも対処し、当事者として責任ある行動をとる力」そのものではないのでしょうか。

自分たちがこの園の主人公、自分たちの生活!という感覚がちゃんとあるから、シートをはずす事が遊びそのものではなくても「自分事」になるのですね。本当に素敵です!

私たちは、このような力を 3 年~4 年かけて育くみ、年長児として卒園させたいと願っています。

「せんせー、きょうなにをするの?」ではなく「せんせー、あしたもしろうよ!」

そういえば金城学院幼稚園では「せんせー、きょうなにをするの?」という言葉ほとんど聞いたことがありません。以前勤務した園では子ども達がよく言っていました。自ら確認するという意味で悪いわけではありませんが、これはその日の生活のプログラムを他者(生活

の管理者である先生)に尋ねる言葉です。

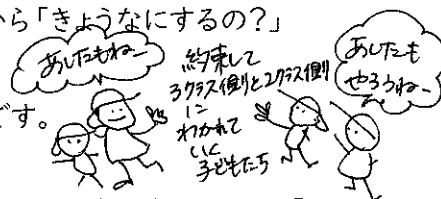
私達の園では生活の大まかな流れは決まっていますが、今日の日をどのように遊んで過ごすかは子ども達に任されていますし、特に年長児などが課題として継続して取り組む活動でも、ある一定期間の間に「〇〇日までにやろうね」と締め切りがあって、その間のいつどこで取り組むかはやはり子ども達に任されています。(もちろんいつも物事を後回しにする子、一番にやっつけたいけど慌てるので作業が雑になる子など、色々な姿が浮かび上がります。そこにピンポイントで援助や指導をしていくのが本園の保育者の役割、腕の見せ所です!)

このようにだいたいの一日の過ごし方を自分で決めますから「きょうなにをするの?」という言葉は園の生活の中で必要ないでしょう。

逆によく聞くのは「せんせい、あしたもやろうよ!」という言葉です。

子ども達自身に主体があり保育者を誘っている言葉ですね。

口々に「あしたも!」と言いながらオリーブの前を小走りに通る子ども達の姿を見ると、「その子自身の園生活を生きているなあ」と本当に嬉しくなります。



### —主体的な遊びを支える保育者の役割—

「やってみたい」という意欲や「どうして?」という疑問から探求や遊びが始まり「もっと面白くしたい」「もっと追求したい」と自ら願い、実現したり問題解決するために自分の考えに基づき創意工夫する子ども達。年齢が上がれば仲間と関わりあい、自分の意見を一生懸命伝え、相手の思いを聞き、受け止め、遊びの楽しさを分かち合おうとする姿があります。

主体的な遊びは自主性や創造性、人と関わる力(協同性や協調性)、粘り強く取り組む力など「生きる力」を育み「主体的に生きる」事と深くつながっていると思います。

その「主体的な遊び」をささえる保育者の役割は重要です。子ども達だけでは遊びの面白さの方向を見つけられなかったり、友達の思いをくみ取れなかったりします。一斉に並べて同じことを教え込むのではなく、一人ひとりの遊びを大事にしながら、遊びの面白さを通して、その子どもの、あるいは遊び集団の育ちに、「その時」に必要な援助をしていきます。

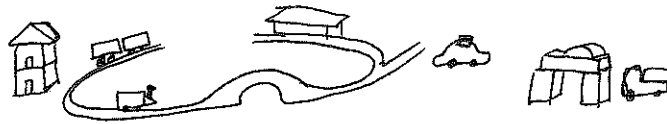
本当に難しい事ですが私たち保育者自身も学びながら一生懸命関わっていきたくと思っています。皆様もぜひ子ども達の遊びの意味を感じ主体的な生活を体験してみてください。

どうぞ皆様にとって、また子ども達にとっても、豊かで楽しい一日となりますように。

児玉芽

**\*ミッキートレインだけじゃ物足りない!?**

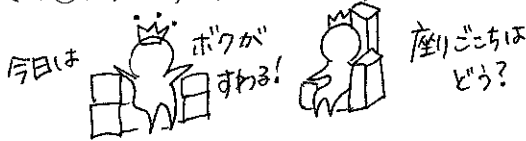
「こことこちつながるかなあ」ミッキートレイン(線路をつなげて電車を走らせて遊ぶ玩具)が好きな子たちが集まって、相談しながら路線が敷かれていきます。1 学期には自分だけの路線を作りたくて、ケンカになっていた子もいますが、一緒に遊ぶうちにお互いに試行錯誤したり、提案したりするうちに、力を合わせてより大きな路線を作ることの楽しさを味わえるようになってきました。トミカを組み合わせると電車の事故が起こるとパトカーが駆け付けたり、線路脇で工事をしている車両があったり、時には積み木でビルやお家を建てて、街ができあがることも。ミッキートレインだけでなく、幼稚園にある他の玩具も組み合わせで楽しんでいます♪



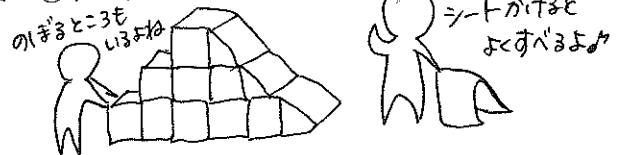
**\*ソフトブロックセ変化**

ごっこ遊びの基地やおうちになったり、高く積み上げて遊んだり子どもたちの発想からいろいろな“もの”に変化するソフトブロック。今回は最近のソフトブロック事情をお伝えします。

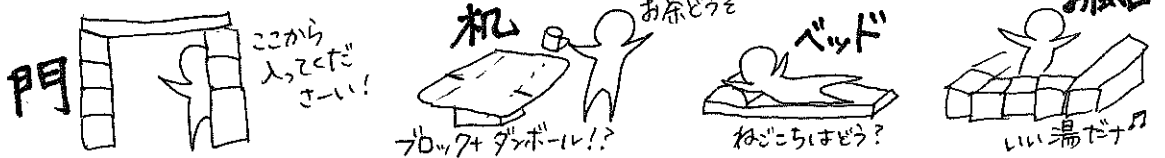
その①プリンス、プリンセスのいす



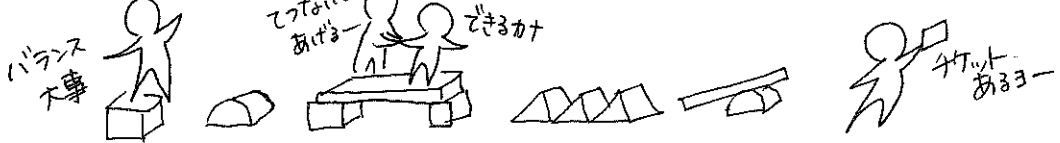
その②すべりだい



その③~⑥おうちごっこの家具、建具



その⑦アスレチック



このアスレチックは、はと組に収まらず、わかば前のウッドデッキに出張中。園庭からも見えることで、いろいろなクラスの子どもたちが交流を深める場になっています。

まだまだ、遊び方は無限大。いっしょにあそぼうの日はどんな“もの”に変化しているかなあ…ぜひ、おうちの方のアイデアも交えて子どもたちと作り変えていくことの楽しさ、面白さを味わってみてください。





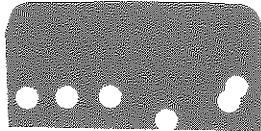
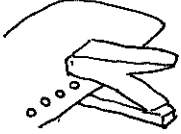
## 2年がかりのぬいもの



実は、ぬいものコーナーが始まったきっかけは昨年度のいっしょにあそぼうの日です！ いっしょにあそぼうの日にうちの方とぬいものをした子どもたちから始まり、楽しんでいた年中さんが、年長さんになって「またやりたい!」と声を上げ、年少さんにまで広がっています。子どもたちが経験してきたことが混ざり合って、遊びの文化が受け継がれています。

(ゆきえ)

穴をあけて!!



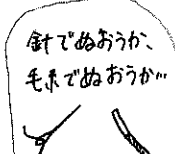
ずらしてがしん、ずらしてがしん、あ。雪だるまになった!



毛糸通すの  
たのしい!



わたがふわふわ  
あ、とびだした



針でぬあうが、  
毛糸でぬあうが!

からまた!

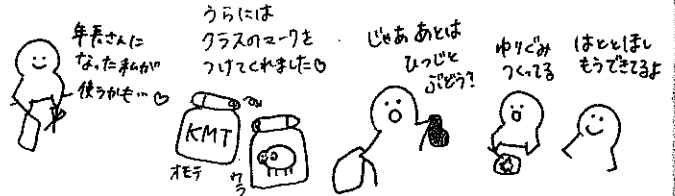


なおせるよ!

たのしい年長さん...

## KMT バッジも製作中!

年長さんが毎日交代でつけているKMTバッジが、ポロポロに... やりたい! と手を挙げてくれた子どもたちと作り始めました。



ぬいものが得意な年長さんと、年中さん、年少さんも一緒に、大切に、丁寧に作っています。新しいKMTバッジとともに、年長さんからKMTのお仕事について伝えてもらう機会を設け、次の年長さんにバトンタッチできたらいいなと思っています♡



## やきいもはいかがですか?



11月ごろから、ゆりぐみのお部屋に「やきいもやさん」が OPEN しています!

メニューは.....

\* 11月、12月  
1か月の  
限定品  
らしいな

・やきいも  
・さといも  
・おみず  
12月10日

・やきいも  
・パンケーキ  
・やきいも  
・りんごパイ

\* 子どもたちで話し合いながら  
次々に新しいメニューが  
できています☆  
どれも おいしそう♡

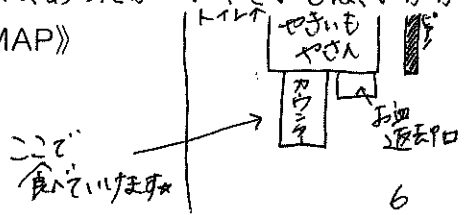
2学期は、石焼きいもにできるように、段ボールに落ち葉と作った石を入れて、その中で焼いていました。3学期に入ると新メニューの「やきいもパンケーキ」が登場!!

お店にカウンターもあるので、食べていく事もできます♪

遊んでるところまで届けてほしいな~という場合は、配達も可能です!!

寒い季節に、あったか~いやきいもは、いかがですか?ぜひ食べにきてください☆(あゆみ)

《店内 MAP》

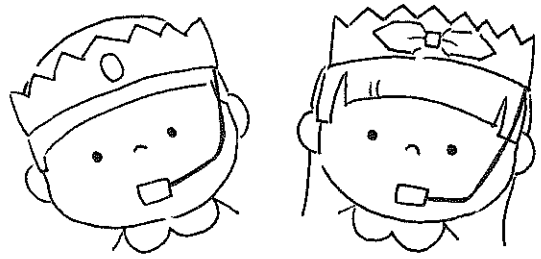


《ゆりぐみ》

テ  
ラ  
ス



西日蓮寺聖の  
方は  
声をかけてね



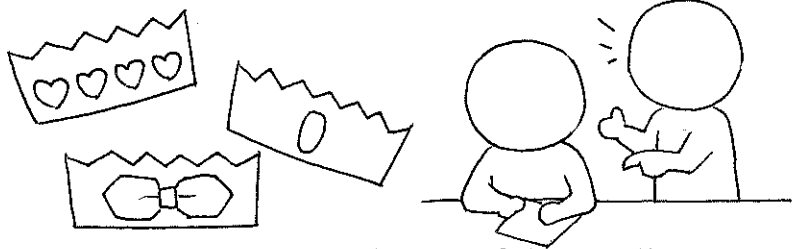
## アイドルごっこ

凍えるような寒い日でも「おはよう!」と、いつも大きな声であいさつを返してくれる子どもたち、一日のスタートは笑顔があふれています。暖かいお部屋の中で、ごっこ遊びや塗り絵、折り紙をしたり。子どもたちは、それぞれ工夫して冬のを楽しんでいるようです。

最近、ひつじ組を会場に「アイドルごっこ」が行われています。年少さんから年長さんまで、いろんなお友達が音楽に合わせて小部屋で楽しく踊る姿が見られます。

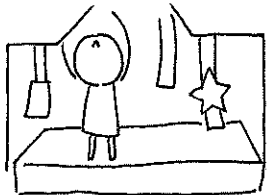
〈アイドルになるために、...〉

年中さんの「マイク作りたい!」という発言から、アイドル志望の子が増えて製作スタート。子どもたちのアイデアをもとに、ちょっと特別な「ティアラマイク」を製作することに。ティアラの形をしたマイクを作り上げる過程では、お互いにアイデアを出し合いながら、自分の思い描くマイクに仕上げていきます。サインペンで色を塗ったり、ダイヤモンドを飾りつけ、ピーチ姫のティアラを作ったり、折り紙でリボンを作って貼り付けたり、「どうやってリボンを折るの?」と、友達同士で教え合う姿もあります。



〈ステージづくり〉

マイクの次は、ステージを作り、飾り付け! 切り紙をすずらんテープで吊るして飾るなど、子ども同士で相談して、役割分担しながら遊ぶ姿が...



すずらんテープの色で...  
 黄色がいい  
 白色がいい  
 じゃあ、レインボーにしよう!



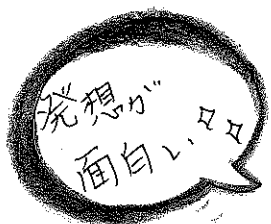
〈完成したステージで踊ってみると、...?〉

完成したステージとマイクを持って、音楽に合わせて踊る子どもたち。

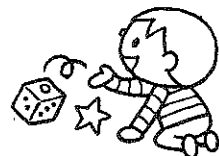
すると、飾りで顔が見えない?! ハプニングがあり、子どもたち同士で、「座らないとだめだね。」「どうする?」と話し合っていました。

子どもたちがこの遊びを通して、創造力や表現力が育まれ、友達と一緒に楽しみながら協力する姿を見ると、心が温かくなります。遊びはただの楽しい時間だけでなく、子どもたちの社会性を育てる大切な経験なんだと改めて感じています。今後、この楽しい遊びがどのように展開していくのか、楽しみです。

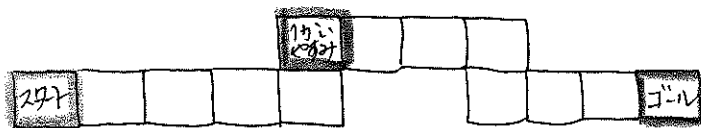
(まい)



## ☆まさかのにんげんすごろく☆



画用紙に丸をたくさん描いて作ったすごろく。四角のマスに止まると、子どもたちが考えた指令が書いてあります。駒はペットボトルキャップを2つ合わせて作りました。冬休み中、家で家族と一緒にすごろくを経験した子もいたようで、ルールがわからないお友だちには教えてくれる姿も。しばらく机上で楽しんでいたすごろくですが、バージョンアップして今は『にんげんすごろく』に!!床にビニールテープを貼ってマスを作り、駒は人間です。年長さんは真っ直ぐ貼ることができそうですが、真似して作る年中さんはシワが寄ったり、長さが短かったり。「ああ、上手いかないなあ」と言いながら貼っていました。赤いマスには指令が書いてあって、クリアしなければ先に進めないルールです。最初の指令は年少さんが考えた【バイキンマンに捕まって1回お休み】。なんだかとても可愛い♡【好きな人の名前を言う】という指令では、ほとんどの子が「おかあさん」と言っていましたよ。子どもたちが考えたサイコロは1~6の目だけではなく、10の目もあります。1位~3位になったお友だちのために、メダルを作ってくれた子もいたり。まだまだマスも指令も増えそうな予感がして楽しみです☆ いっしょにあそぼうの日は、ぜひお家の方も駒になって「にんげんすごろく」に挑戦してみてください。



♡かわいいねこちゃんが増えています♡

年長さんがティッシュの箱とトイレトペーパーの芯を組み合わせて作ったねこちゃん。リードがちゃんとしていて、おさんぽできるようになっています。それを見ていた年中さん。「私も作りたい」と保育者に伝えてくれたので、年長さんのねこちゃんを見せてもらうことに。優しい年長さんが作り方を少し話し始めると、「あっ!もう作り方分かった!!」と言って空き箱を探しに行き、本当に自分1人で作ることができました。4月の頃は年長さんに手伝ってもらったり、保育者と一緒に作っていたのに…と、1年の成長を感じます♪そして、お散歩しているねこちゃんを見て、「私も欲しい♡」と思うのが、年少さん。でももう1学期とは違い「作ってー」とは言いません。年上児と同じティッシュ箱を探しにエントランスまで行き、お気に入りの色を見つけ、保育者に少しアドバイスをもらいながら作っていました。成長ですね。遊びの紹介タイムでは、自分で作ったからこそ自信满满にみんなの前でねこちゃんを紹介する姿も。いっしょにあそぼうの日、お散歩している可愛いねこちゃんたちに出会えるかもしれません♡



< Rina >





## 園庭中央では・・・



☆今日は何から始める？

園庭中央ではドッジボールと鬼ごっこが人気です。どちらから行うのか、決めるところから始まります。「ドッジボールがいい人？どろけいがいい人？」多数決で決めます。最近では白線を引くなどの準備も子ども達が率先して行ってくれるようになりました。結果発表も「ただいまの勝負は〇〇チームの勝ち～」と子ども達がしてくれます。遊びの始まりから終わりまで子ども達が行い、主体的に遊ぶということはこういうことだと、子ども達の姿を見て改めて感じます。

☆例年以上に盛り上がっています

1学期からずっと続いているドッジボール。今年度は例年以上にドッジボールを楽しみ続けている子が多く、その為、ボールの投げ方も、試合の進め方も全てにおいて上手な子ども達。最近ではダブルドッジ(この名前も年長のあつまりで決めました)や王さまドッジが人気です。ダブルドッジはボールを2個使って行きます。同じチームにボールが2個揃うと、内野と外野から同じ相手にめがけて挟み撃ちで狙うところは、今までドッジボールを楽しみ続けてきた子ども達だからできる高度な技。上手にボールを投げる段階を経て、友だちと作戦を立てながら楽しむという段階へとステップアップしているところに、一つの遊びを深めることの素晴らしさを感じます。最初から上手だったわけではなく、1学期からずっと続けてきたからこそ、ドッジボールの真の楽しさを感じられるのだと思います。

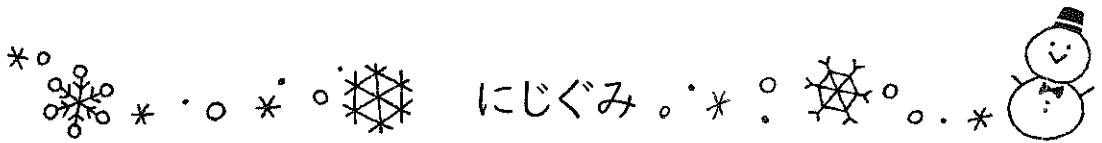


☆おにごっこ系も色々あります

1学期からどろけい(泥棒=逃げる人、警察=捕まえる人)は人気があり、お部屋で遊ぶことが好きな子どもどろけいは好き!という子が多くいます。最近ではどろけいだけでなく、色おにや増やしおに、バナナおになど様々なおにごっこを楽しんでいます。子ども達の走り方も上手になり、なかなか捕まえるのが難しいです。初めの頃は、捕まると悔しくて泣けてきたり、捕まりそうになって捕まりたくない為お茶休憩に行くと言って逃げようとしたり、色々な姿がりましたが、今は違います。ルールを守るから楽しいということが分かってきました。何度も繰り返し遊ぶ中で、子ども達自身が体験したことで、ルールを守るからこそ遊びが楽しくなるということが、理解できたのだと思います。やってみることの大事さを子ども達の姿を見てつくづく感じます。

是非おうちの方も、子ども達と一緒に、園庭中央で繰り広げられている遊びに参加し、勝ち負けの楽しさや悔しさ、それ以上に感じる熱いものを体感していただけたら嬉しいです。お待ちしております!





三学期になり、にじぐみの子どもたちも、一人遊びからだんだんお友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなって喜びを感じるようになってきました。寒い日でも「おそとにいきたーい!」と元気に飛び出していきます。そんなにじぐみさんのあそびの様子をお知らせします。

お砂場いろいろ ○ ○ ○ つるつるだんご ○ ごまだんご ○ きびだんご ○ ○ ○

お砂遊びが大好きなにじぐみさん。大きなお山からドングリを転がしたり、穴を掘ってお水を流し込んで温泉ごっこ、保育者と一緒にトンネルづくりも楽しんでいます。そして最近では泥だんごづくりや、型抜きをしてお店屋さんごっこをするのがブームです。

泥だんごづくりは年上児の作るツルツル、カチカチの泥だんごに憧れて作り始めました。初めは上手に握れなかったり、泥の感触が苦手だったり、まだまだにじぐみさんにとっては難しいようでした。しかし、皆作りたい気持ちが満々なので何とか形になればいいと思い、初めは保育者が手助けすることにしました。ある程度形を作って、壊れないようにしてあげると、皆とてもうれしそうに自分のおだんごにさら砂をかけて大事にしています。その後はおだんごを水で溶かすのを楽しんだり、築山から転がして壊れないか試すなど様々なあそびに展開しています。

そこからさら砂づくりにハマって熱中している子もいます。細かい粒子がツルツル泥だんごになる秘訣なのです。泥だんごから学ぶことはいっぱいあるようです。

また砂場の囲いの部分を回転ずしのレーンに見立てて、おだんごに葉っぱをのせてお寿司を作って並べて遊んだことがきっかけで、様々な型抜きが並ぶようになりました。ドーナツだったり、ケーキやカレーライスだったり!また、切り株の上にたこ焼きを並べて、「カチャッ!ポー!」「ジュージュー!」と効果音をつけてたこ焼き屋さんごっこも楽しんでいます。また、ケーキ作りは定番で木の枝をいっぱい挿してお誕生会もしています。 みんなでイメージを共有して遊びを広げていく、そんな第一歩を踏み出しているにじぐみさんです。



他にも外では縄跳びを使ってトンネルの入り口に垂らして、魚釣りごっこ、懐中電灯を持ってトンネル探検、かくれんぼも楽しんでいます。



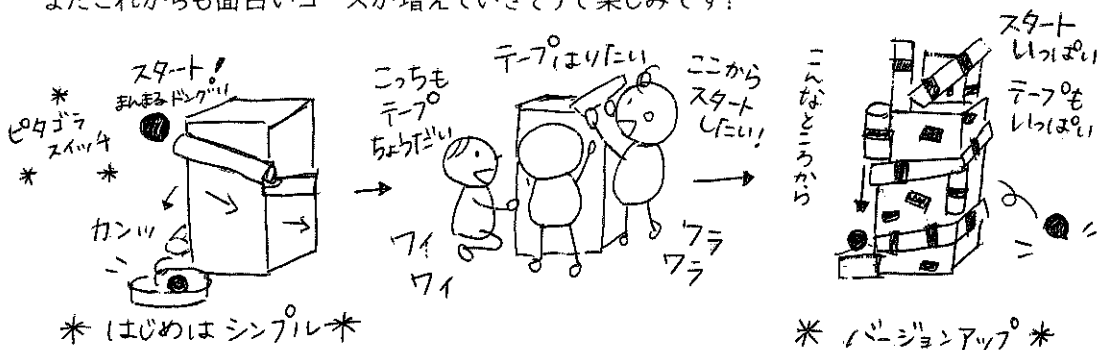
## お部屋でもいろいろ

2学期の後半にぬりえを楽しんでいた子どもたちが、おしゃべりしているうちに仲良しになり、おままごとから始まり、様々なごっこあそびを展開しています。ソフトブロックは変幻自在、お風呂に見立てて温泉ごっこ（外でも中でも温泉はみんな大好きなようです♡）をしたり、お城を作ってプリンセスごっこ、最近は学校ごっこも始まりました。ここでもイメージの共有ができていて、とても楽しそう♪また、ときどき年上児がやってきて「おみせやさんやってまーす!きてくださーい!」「にんぎょうげきやりまーす!チケットあります。みにきてくださーい!」と誘いに来てくれます。お兄さんお姉さんのあそびはとっても刺激になり、次のやってみたいに繋がっていきます。ここに異年齢保育の醍醐味があります!



ピタゴラススイッチと勝手に名付けていますが、不定期で思い出したときにでてくる装置があります。あそびが見つからずに佇んでいる子に「ピタゴラススイッチする?」と声を掛けると「やる!」と即答。大きな段ボールにペーパー芯を貼り付けて、ドングリを転がすだけの遊びですが、これが何とも楽しいんです!遊んでいる途中で他のコースを作っていると、みんな自分も「やりたい!」と大張り切り。「ここからスタートしたい。」「ここ、とれそうだからテープはる。」などなど、大人が思いつかないようなコースを作ったり、驚きと感心でいっぱいです。思わぬところからドングリが飛び出したり、ゴールに缶を置いて「カンッ!」という音に大笑いをしています。

まだこれからも面白いコースが増えていきそうで楽しみです!



どんな遊びをするのか、その日の気分やお友だちとの関わりにもよることもあります。

にじぐみさんならではのあそびや年上児との関わりも楽しんでくださいね。

(Akie★)